

1学期を振り返って ～1学期終業式：各学年、生徒会本部の代表から～

7月20日（木）の1学期終業式で、各学年及び生徒会本部の代表者が、一学期の成果や課題、夏休みや2学期に向けての思いを全校生徒の前で堂々と発表しました。発表が終業式当日でしたので、学校だより7月号に載せることができず、今回の掲載になってしまったことをご容赦ください。

一学期を振り返って

一年生代表 H・R

中学生になって今までの四ヶ月間、小学校の頃との違いを多く感じてきました。例えば、教科ごとに先生が替わることや、部活動があり生活リズムが変化したことなど、小学校の頃との違いに戸惑うことが多かったです。そんななか私たち一年生は、学年テーマを「Green・Good・Group」として掲げました。G3には七つの意味がこめられており、それぞれを達成できるよう取り組んできました。その成果として、声かけができたことや、目標達成に向けてみんなで協力しながら努力できたことです。課題としては、忘れ物が多いということがあげられました。私たちは仲間にもう時間だよ「頑張ろう」などと声をかけるよう心がけています。また他にも基本的な挨拶もしっかりとできるように取り組んでいます。私たちは、この挨拶や声かけのおかげでやる気が出て、授業に集中して取り組むことができました。また、目標達成に向けて努力ができるということについては、それぞれが宿題を分かりやすくまとめたリ、テストが近いときにはテストに備えて「ワークをやり直す」「eライブラリをする」などとして、テスト対策にしっかりと取り組んできました。さらに、自主学習で勉強した問題がテストに出るなどして、テストの点が上がった人もたくさんいます。しかし、私たちの課題である「忘れ物が多い」ということについては、宿題を忘れたり、教科書を忘れたり、その他にもいろいろ忘れ物をしてしまいます。このように忘れ物が多かったせいで、授業が成り立たなかったこともあります。このように忘れ物が多い原因は、「タイムくん」を書かなかつたり、しっかりと話を聞かなかつたりするせいだと思います。2学期からは、学年生徒会を通じて声かけや、タイムくんをチェックするという対策をしていきたいと考えています。私たちは、声かけや目標達成に向けて努力することができるという成果や、元気でメリハリのある良さなどを大切にしながら、忘れ物をなくすように意識して、2学期から生活していこうと思います。

一学期を振り返って、夏休みにしたこと

二年生代表 H・M

二年生として迎えた一学期はあっという間に終わり、明日から長い夏休みに入ります。私は一学期、新しく同じクラスになった人とたくさん関わるため、積極的に話しかけるようにしました。はじめはなかなか勇気が出ず、自分から話しかけることができませんでした。あ、いさつすることから始めてみると、だんだん普通に話せるようになり、あ、いさつはコミュニケーションをとるのに大切なことだと気づきました。

二年生は職場体験に向けて、時間をしっかりと守れるように、二分前着席やあ、いさつの取り組みをしてきました。はじめはあ、いさつの声がかつたり、返事ができなかったりしたこともありましたが、だんだん一人一人が積極的に声を出すようになりました。二分前着席では、時計を見て時間を意識する人が増え、呼びかけをしなくても守れる人が多くなりました。しかし、授業終了後に次の授業の準備をする前に友達と話をしたりし、二分前着席ができていない人もいました。

そして、夏休みには職場体験があります。職場体験では、働くことの大切さや自分が将来職に就くために今からできることを探し、見つけたことです。普段ふれることのない貴重な体験なので、自分から積極的に質問や行動をしたり、基本的な礼儀・あ、いさつ・マナーを身につけたいと思います。

二学期の上条中最大行事の麗条祭では、来年に向けて三年生の姿を見てどうのように行動すれば良いのかを学び、三年生を支えて、一年生にはお手本となる姿を見せられるようにしたいです。



1学期終業式で、4年ぶりに全校生徒で校歌を歌いました。先輩たちが歌い継いできた校歌の火を絶やすことなく、これからも歌い継いでいきましょう。



一学期を終えて

三年生代表 S・A

私たち三年生は、最高学年として様々なことに取り組んできました。その中でも、修学旅行では、学年としての「絆」を深めることができました。

例えば、係活動です。修学旅行は、百人以上が一つになり、活動する一大イベントです。それを成功させるためには、一人一人が自分の役割を意識しなければいけませんでした。私は班長として、班員に指示を出して班をまとめました。

このように、他の係の人も自分の仕事に責任を持って、学年のために行動するという意識が高まりました。また、私たちのクラスでは最終日に神護寺というところに行きました。神護寺は階段が多く、登るのも降りるのも大変でした。その上、その日は暑く、体調不良者が多く出てしまいました。ですが、皆が体調不良になつた人に肩を貸してあげたり、荷物などを持ってあげたりして、協力して乗り越えることができました。私は、仲間同士で助け合うことができる思いやりのある集団だと感動しました。このクラスの二つのできごとから、クラスや学年での絆が深まり、そして団結力が高まったと思います。

これらの経験を生かし、学年生徒会の取り組みや、総体も一丸となって頑張ることができました。次は、麗条祭に向けて絆や団結力を生かし、頑張っていきたいです。一方で、私たちの学年は学習に対する姿勢があまりよくありません。学年全員で団結し、学習に向けた雰囲気をつくり、将来のために日々しっかりと学習に取り組んでいきたいです。

一学期を振り返って

生徒会代表 M・N

今年の生徒会は『革新』という生徒会テーマのもとスタートしました。コロナウイルスが終息してきている中、コロナ禍の生徒会とは違うような活動を、新しいコロナ前の生徒会をつくってという活動してきました。

生徒総会で今年の生徒会の流れが決まり、私たち生徒会は上条中が良い学校となるよう頑張っています。今学期は、あいさつ運動や壮行会などを通して、他学年との交流を深めたり、クラスや部活動での団結力を高めたりすることができました。私はテニス部に所属していますが、思うようにプレーできない場面やテニスをやめたいと思うことがありました。ですが、友達が「一人で抱え込まないで頼ることが大切だよ」と言ってくれたこともあり、乗り越えることができました。テニスは人数がいなくてできないスポーツで、一人では何もできないことから、「仲間は貴重なものなんだ」と自分自身の心で感じることができました。

夏休みが終わると麗条祭の取り組みが始まります。この麗条祭は上条中の最大行事です。プロックの仲間やクラスの仲間がいなければ麗条祭は成り立たないので、プロック内やクラス内での団結力も必要となります。「人間はどんなに素晴らしい才能をもっているか、自分一人ではその才能を発揮することはできない。自分を助けてくれる仲間をもつことによって、その力を発揮することができるのである」と言う言葉を聞いて、できることのない私でも、何かできることがある、必要とされていると感じました。皆さんも、夏休みはできないことを数えるより、できることを数えてそれに向かって努力してみてください。有意義な夏休みにしましょう。

身をもって働くことの大切さを学びました ～2年生：職場体験学習～

2年生は1学期中からキャリア教育の一環として取り組み、7月22日（土）から8月24日（木）までの間、実際の職場に出向いて体験学習を行いました。生徒は事業所や店舗等の都合に合わせ、一人1日から3日間それぞれの職場で働くことの大切さを学びました。

昨年度までは新型コロナウイルス感染症の影響で、この職場体験学習は3年間行えませんでした。まだ、コロナ感染症は完全に終息していませんが、たくさんの事業所や店舗等に生徒の受け入れや、ご指導・ご支援をいただき本当に感謝しております。

生徒の皆さんは、職場体験学習で得たことを今後の自分の人生に役立ててほしいと思います。また、そのことが今回協力していただいた方々への恩返しになると思います。学習のまとめを最後までしっかりとがんばりましょう。



スターバックス：機材のセッティング

シャトレーゼ：ショーケースの清掃



県立図書館：本の紹介づくり

